



さいき りょうた
齋木 良太 議員

齋木

地域特性を踏まえた 災害対策の整備状況を問う！

少しでも町民の方々が 安心できるような 災害対策を進めていきたい

町長

質 12月の北海道・三陸沖地震の松前町での被害状況は。

答 町内の人的被害や町の施設含めた建物被害の報告は受けておらず、何事もなかったとおさえている。

質 町民へ備えの呼びかけなどはあるか。

答 町がやるべき備蓄はするが、個人で3日分程度の備えをお願いしたい。また、マイナンバーカードなど貴重品も日常的に持ち歩くよう心がけてほしい。

質 医薬品の備蓄に関して、計画書に「町で確保する」とあるが、入院患者の2週間分しかないと聞く。この備えは十分なのか。

答 使用期限の問題もあり、全て町で揃えるのは難しいため、町内の薬局と連携強化を図っていききたい。

質 日本災害医学会のホームページにある医薬品リストや電子カルテのデータを基に、医師と速やかに協議するべきでは。

答 大変良いアドバイスありがとうございます。専門外の部分もあるため、病院や薬局など関係機関と協議を重ね、早期に対応できるものは早期に着手していく。

質 計画書には、「避難の際に「車を使用しないこと」とあるが、高齢化の進んでいる松前町では現実的ではない。車の誘導シミュレーションは行っているのか。

答 車の移動は渋滞も考えられるため、基本は徒歩で避難していただきたい。駐車場の管理なども想定しながら取り組んでいかなければならない。

質 避難所の段差への対応について、簡易スロープを町で保有すべきではないか。

答 限られた財源の中で大規模改修が必要な場所もあるので、補助的なものがきちんとしていけるよう計画的に進めていきたい。

質 福祉避難所について、協定を結んだ施設に配付されたマニュアルが暫定のままで困っている状況だと思いが、その対応は。

答 現場の課題を確認し、安心して運営できるように対応したい。マニュアルは、町と施設の両者でつくることになっているが、町が主体となって、声かけをしていく。



福祉灯油等助成事業の 対象要件見直しについて！

沼山



沼山 雄平 議員

町長 令和8年度に向けて結論を出していく

質 松前町福祉灯油等の助成に関する条例を制定してから13年経過したが、現在の経済状況の変化をどう捉えているか。

答 当初と今とでは変化している部分もあるので、都度、対応して進めていきたい。

質 条例の見直しや調整を行う考えはあるのか。

答 国の動向、北海道の動向など様々な情報を加味し、対象範囲の拡充も考慮しながら検討する。

質 収入90万円より少し上回った収入の世帯も対象となるように、要件を改めるべきではないか。

答 国の税制改正など様々な所得の要件を鑑み、当町の対応や財源面も含め、取り組んでいきたい。

質 毎年、特例措置として1万5千円を助成しているが、恒久的な制度として改めるべきではないか。

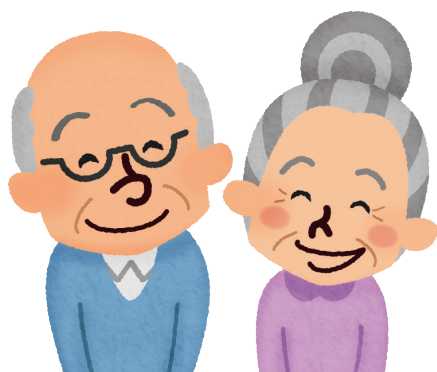
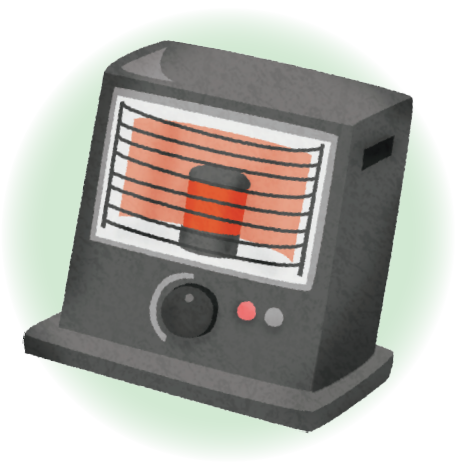
答 リッター換算か金額かどちらが良いのかという部分も含め、当町のあり方を加味して進めたい。

質 令和8年度に向けて改正する予定はあるのか。

答 検討して結論を出していく。

質 福祉行政を強く進めるといふ決意があれば示していただきたい。

答 町民が安心して住めるまちづくりを目指して突き進んでいきたい。





いいだ ゆきひと
飯田 幸仁 議員

飯田

ふるさと納税・食だけではない 松前の魅力返礼品の開発を！

根本的なやり方を見直し、 1億円を目指していく

町長

質 ふるさと納税を始めたのが出遅れたイメージがあるが、どう思っているのか。

答 大規模事業者が町内にはない中、地道に進めてきているのが現状。今一度、各事業者などと話をしながら、松前町を応援したいと思ってもらえるようなものを目指したい。

質 松前町は寄附金額も低いので、検証しているのか。

答 松前漬という全国的に有名で安定している返礼品もあるが、当町のふるさと納税の根本的なやり方を見直す必要があると考えている。

質 当町のふるさと納税や返礼品をどのように考えているか。

答 サザエやさくらサーモン、エゾニユウ（ニオ）などを返礼品に加え、また、海業の取組の中でもふるさと納税を活用できるのではないかなど、充実したものにしていきたい。

質 当町の返礼品のトップは松前漬だが、量などを考慮して工夫するべきでは。

答 小分けにしたものや各事業者の商品をセットにするなどを考えている。

質 旅先納税（※）について、展開を考えているのか。※旅行先の自治体にその場で寄附ができる仕組で、返礼品として即時利用できる電子クーポン（電子ギフト）を受け取ることができる。

答 素晴らしい制度だと思うので、令和8年度への導入に向けて進めていきたい。

質 宿泊券やクーポン券など食以外の返礼品も必要では。

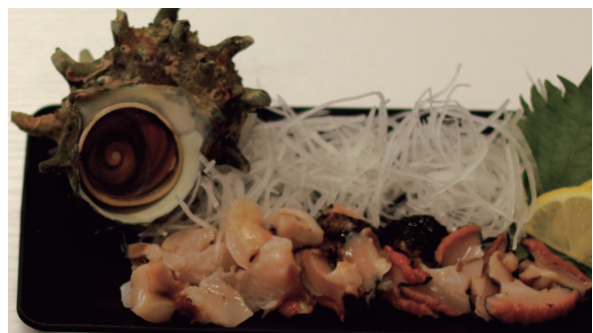
答 観光物産協会をはじめ、様々な団体からのアイデアを取り入れていきたい。

質 ふるさと納税のPR活動を強く進めなければ、寄附金額に反映しないのではないか。

答 継続してPRに努めていきたい。



北海桜サーモン



離島小島産サザエ

孤独死への対応について

齊藤



さいとう まさる
齊藤 勝 議員

町長

温かく周りで見守り、 1件でも減るように努める

質 65歳以上の独居世帯を数字で把握しているのか。

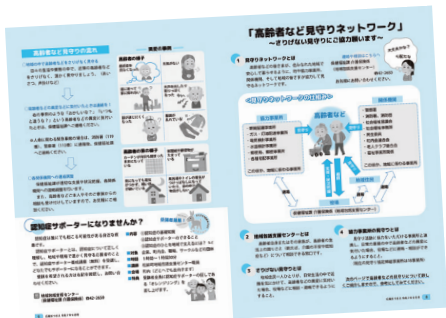
答 11月末現在では、732世帯となっている。

質 町内会や隣近所で連携がとれるように、行政から町内会へ見守りの依頼をしたり、家族に連絡をして、週に1、2回でも連絡をしてくれないかという働きかけも必要ではないか。

答 異変があった場合はすぐに通報をもらえるように、町内の配達事業所や新聞配達事業所などと協定を結んでいる。また、町内会単位で取り組んでいる地区もある。

質 ひとり暮らしになった段階で、親族と連携をとるような指導をするべきではないか。

答 家庭内のことなので、積極的に関与するのは難しい部分もある。行政として指導するというよりは、まず身内の方同士で話をしていければと考えている。そのためには、親族の方がいる場合はコミュニケーションをとる意識付けをひろげていきたい。



「高齢者見守りネットワーク」の記事
(町広報9月号掲載)

次の定例会は
3月4日(水)からの予定!

議会を傍聴してみませんか?

町政の主人公は皆さんです。

みんなで町政をより良いものにしましょう!

町政に興味のある方は、

この機会にぜひ、議会を傍聴してみませんか?

<議会傍聴の手続き>

来庁した際、傍聴者カードに住所と氏名を記入していただきます。

問 議会事務局 ☎42-2275 ㊟281・282